

新しい資料が入りました

『貯木場と筏師』（A657）安井勝彦（南歴遊会）／[著] 2022年

『伊勢湾台風カルタ』（A369）松岡敬二／監修 2020年 名古屋市港防災センター製作

実際に伊勢湾台風を経験した人々の体験談を集め、44枚のカルタにしたもの。絵札には当時の写真が使用されています。

*「伊勢湾台風 水と風と流木」（A45）の複製を作成し、原本を名古屋市図書館貴重資料に指定しました。

そのとき図書館は… その2 伊勢湾台風時の名古屋市図書館

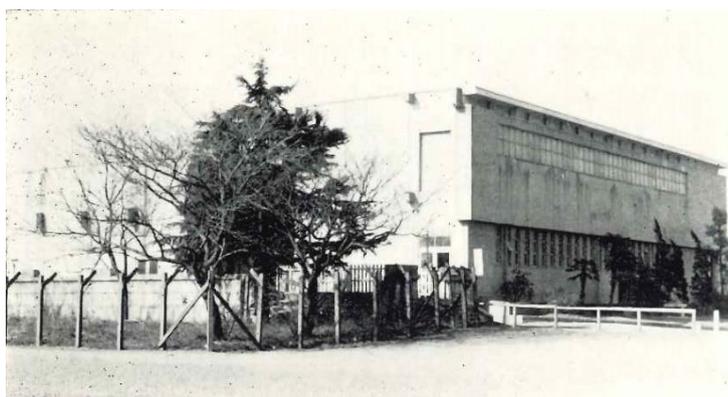
「当時、名古屋市図書館は鶴舞図書館と栄図書館（西図書館の前身）の2館でした。2館あわせての被害総額は2,035,000円。」その1の続きです。

鶴舞図書館は台風の翌27日のみの休館で、28日から平常通り開館しました。ただその後しばらくは、職員が市南部の被災地救援活動に携わったため、閉館時間を早める措置が取られました。

一方西図書館は、被災地の子どもたちへ本の支援を行いました。

昭和35年3月、『伊勢湾台風被災校巡回子ども文庫』を開設。

その後、名古屋市児童福祉事業団より、巡回文庫自動車1台と児童図書16,398冊が寄贈され、その自動車は『わかば号』と名付けられます。



そして5月5日こどもの日を記念して、『わかば子ども巡回文庫』がスタート。翌36年まで、被災地の子どもたちに本を届ける事業が続きました。

【参考文献】『名古屋市鶴舞中央図書館50年史』名古屋市鶴舞中央図書館／編 1974
『西図書館50年誌』名古屋市西図書館／編 名古屋市西図書館 1975

資料の整理を進めています ✨

写真パネルの修理や、手つかずのままだった冊子などの整理を進めています。

伊勢湾台風の発生から60年以上が経過し、当時の資料やそれを記録したマイクロフィルムなども、徐々に劣化が進んできています。貴重な伊勢湾台風資料を確実に次世代へ伝えていくため、図書館では複製を作成して原本を『名古屋市図書館貴重資料』に指定したり、デジタル化を行ったりしています。

南区歴史講演会を行いました



令和4年10月26日（金）に、名古屋市博物館から木村慎平学芸員を招き、「関東大震災と名古屋」と題した講演会を開催しました。

伊勢湾台風からは離れますが、関東大震災という未曾有の大災

害が、当時の名古屋でどのように受け止められていたのかについて、新鮮で興味深い話を聞くことができました。当日は南区以外からも、歴史に関心をもつ多くの参加者にお集りいただきました。

企画展示

* 1階展示コーナー

9～10月「伊勢湾台風を次代へ伝える」伊勢湾台風の概要説明や写真パネルの展示

* 2階展示コーナー

5～9月「伊勢湾台風の夜 ぼく、私たち」当時各小学校で作成された体験作文の紹介

9～11月「伊勢湾台風と名古屋の交通」交通機関への被害を伝えるパネルの展示

◎2階展示コーナーでは、当館資料を通じ災害を語り継ぐために、常設展示と合わせて当時を伝える写真パネルや資料の展示を行っています。

発行：名古屋市南図書館 令和5年2月1日発行

名古屋市南区千竈通2-10-2

TEL：052-821-1732 FAX：052-821-3364